

## 本庄まち歩きTEKUTEKU活動報告

日 時 ●2010年10月3日(日)13時45分～17時(オプション10時40分～)

企画概要●中山道、日本橋から10番目の宿場町、本庄市の旧市街地を歩きました。見どころは三つ。一つは本庄駅北口から中山道に広がる木造密集市街地の路地。明治中期から昭和初期まで繭糸産業で栄え、路地奥にはその従業員の長屋が多くありました。二つ目は、中山道沿い散在するに建築遺産(登録有形文化財等)。三つ目は、平坦な台地を走る中山道の北側に続く段丘の崖線と緑地、坂、親水公園等の微地形の味わいです。

ご案内は、建築遺産の一つ旧小森商店酒蔵を本庄赤煉瓦ホールとして再整備された本庄まちづくりNETの戸谷正夫さんにお願いしました。

また、オプション(午前の部)として、URが区画整理事業を展開している新幹線本庄早稲田駅周辺の新市街地を見て歩きました。

企画の最後には、再生したばかりの赤煉瓦ホールで本庄の新旧市街地の印象と整備の在り方についても、意見交換できました。

まち歩きのコース● JR本庄駅集合 → 駅北口密集市街地の路地 → 旧中山道本庄宿に残る近代遺産・「世間」遺産 → 本庄崖線の坂、緑、水 → 小森商店酒蔵跡を再整備した本庄赤煉瓦ホールで意見交換会(オプション:新幹線本庄早稲田駅周辺のUR区画整理地区→早稲田リサーチパーク→レストランMagenta)

参加者 ● \* 井手幸人、今泉誠、\* 大竹亮、大塚博、大森享、柿島佳弘、\* 梶芳晴、\* 栗原徹、小平歩、篠原洋子、清水正美、竹内宣行、樋口和男、\* 平野隆、\* 古里実、細川大輔、\* 毛須知之、\* 森川肇、山中洋子、ほか(\*印はオプションから参加)

案内●本庄まちづくりNET:戸谷正夫さん、UR都市機構:高橋一樹さん(午前の部)

### 【参加者による評価】

(評価点の計算:とても良いA=5点、良いB=3点、普通C=1点、良くないD=1点とした平均値)

1 今回歩いた本庄の町(中心市街地)全体について AABBBBBBBBBBBCCD—【2. 9】

A :全体に寂れた印象でしたが、それはそれで趣のある町で、わたしは好きです。

A :密集市街地の路地、古いお店が今も点在していること、そして崖線の緑と坂道、元小山川の水辺など魅力ある資源と蔵の再生に取り組むNPOの活動がある楽しみな街。

B :まちの歴史を感じられる面白いところでした。細い路地、地形、蔵を利用した再開発事例など、興味深かったです。

B :歴史遺産はもとより、細い路地やそこに立ち並ぶ飲食店等は、まさに昭和のレトロを感じ得るものでした。

B :かつて中山道最大の宿場だった面影はほとんどなく、街は疲弊し、傷んだ建物も多く目についた。しかし、密集地の路地の佇まいや歴史的建物の活用、崖線の緑の存在など、まちづくり



資源は豊富にあるようだ。

B : 中山道沿いを車でさっと通っても解らなかった。しかし、歩いてみると、しかも地元の方の案内で歩くと、断然と面白くなる。ツアーには案内人が必要だと痛感する。機会があれば、もう何回か歩いてみたい。

B : 密集市街地は何とかする必要があると思います。歴史的な遺産が点在し、魅力がたっぷりです。

B : 中山道の宿場町や織維産業の拠点として、かつて栄えていたことを示す多くの資源があるが、今はその資源がうまく活かされていない。

B : 核となる求心力のある建物群は無いかも知れませんが、レンガ造・蔵が散見され本庄の特色を生かしたいところ。

B : 歴史のある建物が線で結ばれ、観光と活性化に繋がることを期待します。

B : スナック、居酒屋の看板がつらなる路地、今は閉業されていることが多いが、このまちがどんなに元気があったかよくわかる。宿場町としての繁栄した町ならではの建物もいくつか残っている。しかし、今手を入れないとこうした貴重な資産もなくなるような気がしました。

B : 深谷と相似するところが多くある。(大塚さんが指摘した)崖線が深谷に続き、市街地が本庄は斜面の上で深谷は下にある。

C : 古河市と同じく織維産業で発達したまちと知りました。昭和の近代化でその産業も衰退してしまい表通りからその面影はほとんど見受けられません。どこの地方都市でも同じ様ですが、本庄市の商店街も人通りが少なく旧市街地の衰退が進んでいるようです。評価としてはCの普通とさせて頂きました。これは今や旧市街地の標準と考えざる得ないと思ったからです。しかし実際にまちを歩いてみると立派な神社仏閣が見られ、やはり歴史のある街であることをうかがい知ることができました。

C : 崖線の当たりは良かったですが、密集市街地がどうも…。相殺してCとさせていただきます。

D : 人通りが少なく寂しい雰囲気であった。元気がない地方都市という印象でした。

ー : さすがに商業都市だっただけあり、街全体が「店舗」です。その中に暮らす様式も、長年の中に店舗兼住居という形に向くように形作られているのでしょうか。それは、「野口製麺」での、新しい住まいは建てたものの、結局はこの古い家で暮らしている、とのお話にも裏付けられます。

## 2 本庄駅北口密集市街地について AAABBBBCCCCDDDD—【2. 0】

A : この先になにかあるか分からない路地は、ワクワクして面白かったです。

A : ここ通っていいの?という路地もありましたが、とてもワクワクする路地巡りでした。この路地も「世間遺産」に!

A : 旧赤線跡のスナック街といいった風情が、なんとも昭和っぽくてよかったです。

B : 狹い路地と老朽化した建物のつくる空間は、かつての繁栄の痕跡を残しており、不思議な懐かしさを感じさせる。



B :生活観のある路地が印象的でした。

B :狭い迷路のような路地に面して、蔵や旧家、庶民住宅やレトロなお店などが並び、歩いていると飽きない。しかし、建物の傷み具合が心配になった。

B :狭くてワクワクする路地と古いお店がぎりぎり生き残っている感じに改めてびっくりしました。密集市街地としては空き地も増えてきましたから、防災性についてそれをどう評価するかでまちづくりのベクトルが変わりそうです。

C :「単なる懐かしさ」で評価すればB。防火・路地空間の親しみやすさ等の課題にして「味のある路地空間」に変貌できれば、ぜひ飲みに行きたい。

C :表通りからはあまり見られませんでしたが、一歩路地に入ると長屋など一部面影を残す建物がありタイムスリップしたかのようです。角にはいい感じの食堂もあり昭和の時代を垣間見ることができました。こう言った界隈性が人を引き付ける魅力があると思いますが、現在では何よりも災害時の安全性が優先されますので行政にたずさわる者としては悩ましい限りです。

C :防災上の観点や居住者の高齢化(?)など課題はあるものの、見方を変えると風情があり歴史を感じることができます。

C :棲む人は大変苦労。私たちにはおもしろく興味あり。路地の持つ人間尺度・濃密なコミュニティを継承する。

C :廻った感じではあまり密集しているという印象は無い。駐車場になってるから?

D :映画のロケ地としては良いでしょうが、生活地としては防災上大変危険です。景気の悪い今のうちに、ワークショップなどで住民の合意形成を図り、残すものと改善するものを明確にし、今後のまちづくりの方向性や計画を作るべきだと思います(神戸の真野地区のように)。

D :風情があると見る人もいるでしょうが、やはり問題地区だと思います。住宅・都市問題というより社会の問題か。

D :壊れかけた建物が多く、周辺の住民の人がどう思っているのか知りたいところであった。地震や火災があった時が心配です。

ー:路地から路地へ。裏道から裏道へ。その道に長けた水先案内人のおかげで大正や昭和初期の時代にタイムスリップ。通りに面した商家の「表向き」の顔と、庇と庇が重なり合う「裏の顔」との落差。存分に味わうことができました。こうした回廊そのものが「ギャラリー」としての機能を持つことが、この密集地ならではの特徴として生かせるように思います。また、その「味わい」は、日常の暮らしがそこにあればこそ、です。「生きている街」の中に「歴史性」が溶け込んでいく、ということの貴重さに着目しての生かし方が探られていくべきかと感じます。



### 3 旧中山道本庄宿に残る近代遺産、「世間」遺産について AAABBBBBBBBCC【3. 1】

A :いいものがたくさんあります。磨いて光らせたいです。

A :いいですね。

A :多くの歴史遺産は過去の繁栄の証であり、今後も後世に残すとともに活性化策の材料としてもその活用を期待したい。

B :まとまった集積はないですが、工夫して活用されていると思いました。

B :点在状態とはいえ、古いお店が現役で活躍しているとうれしくなる。せっかく作られた「世間」遺産のまち巡りマップをもっと宣伝した方が良い。

B :「世間」遺産巡りのマップがあるといい。世間遺産を巡り、住んでいる方々と話を聞き、本庄を歩くと、本庄の魅力が見えてくるのではないか。よう。

B :繭糸産業のまちとして繁栄したころの煉瓦蔵や土造蔵が点在していますが、新たにつくることは費用も時間もかかります。赤煉瓦ホールや煉瓦蔵を活用した洋菓子屋など良い例として活用されているようでした。こう言った歴史的建造物の価値を皆で共有できると良いと思います。その為にも本庄まちづくりNETの今後の活動を期待します。

B :煉瓦造の銀行を転用した洋菓子店、警察署を転用した資料館、それに郵便局など、今に残った歴史的近代建築を活かしている。赤煉瓦ホールの再生で、また一つ大きく充実した。

B :中山道から多くの蔵を見る事ができました。マンションなど高い建物がほとんど建っていないので、街並みは整っている感じでした。

B :貴重であるにもかかわらず、打ち捨てられたような、もったいない気がしました。

B :宿場町らしい町家や蔵、煉瓦造、洋館など、なかなか味わいのある建築が残っているが、連続性がないので街並みとしては今一歩。

B :そろそろ市が動くとき。深谷と連携すべき。(深谷と関係がある)

C :昔ながらの地割と路地が残っているのが面白い。路地からひょっこりと敷地に入れて、面白いお店があったりするとドキッとするのに。結構、蔵など残っているが現在は使われてないで、何とか使うようにすれば残ることにつながる。

C :旧中山道沿道は洋館が点在していて歴史を感じますが、やはりちょっと寂しいです。



#### 4 本庄崖線の周辺について AAAABBBBBBBBCC—【3. 3】

A :ここに限らず緑地崖線地帯には由緒あるお寺等、昔からまちを見降ろし(見守って)てきた建物があるものですね。

A :元小山川と一対になった斜面は、一級品のお宝です(神社とお寺が立地することで、自然環境だけでなく、文化環境としても)。

A :今度は、高低さの把握できる着色地形図などを持参したいです。

A :旧中山道と平行して崖線が走るこの地形と旧市街地の関係が面白い。崖線が深谷まで繋がっていることを初めて知った。

B :崖の緑が目に心地よく、川沿いの散歩道も整備され、坂道が街に風情を添えていた。中心街を画するこうした自然地形は大切にしたいもの。

B :崖線の緑と、崖の上下をつなぐ坂や階段の風情がなかなかいい。

B :3歳の息子は公園で鯉や小魚などを見て喜んでいました。昔の崖の上と下の地域性の違いについて説明していただき、以前の姿を想像し面白かったです。

B :崖下の河川にかかる橋周辺を再整備するとさらに魅力的な空間ができるのではないかとうか。

B :深谷まで遊歩道などで整備されると良いと思います。

B :近年、多くの水路や水辺が塞がれてしまって残念です。生活空間の中で人があまりにも水や自然に対して接する機会がなくなりました。まちに水辺があるのはうらやましくかぎりです。今後もうまく生かされることを期待します。

B :やはり高低差のある土地は変化があつていいですね。昔日の栄華を思いました。

B :別荘地の感が薄らいたイメージでした。今後に期待します。

B :崖線の周辺の土地利用は公共施設、寺社などの大規模土地利用が多く、背後の旧中山道とは対比的であり、これが街の構成にメリハリをもたらしている。見晴らしの良い場所の立木の整理等、見晴らしの確保ができると良い。

C :阿夫利天神社からの眺望が良さそうでしたが、樹木に覆われて見ることが出来なくて残念でした。一部でも間伐をすると良い景観の視点場になると思います。

C :地形を活かした緑地、坂、親水公園等は確かに、味わいあるものを感じたが、池の濁りなど全体的に維持管理が行き届いていない印象を受けた。

—「はけ」とか「ばっけ」とも言う、断崖線が明瞭でした。街中とこんなにも近接していることに驚きます。だから寺社の「アウトレット」ゾーンになりえたのでしょう。山岳信仰あり、禅宗ありで、参道周辺の商店は参拝客を引き寄せる労力も不要で、寄進も弾んだことだろう、などと往時を想



像しました。

## 5 本庄赤煉瓦ホールなど旧小森商店跡地の再整備の取り組みについて

### AAAAAAAAB—【4. 9】

A :全部残せれば一番良かっただろうが、現実の方策として宅地開発分譲と3棟の酒蔵の保存再生を両立した手法には驚いた。行政支援ゼロでもできたことがすばらしい。分譲宅地の外構と設計も一体的になされるという優れた仕組みなので、新旧建物がどのような空間を演出するのか、全体の完成が楽しみである。

A :赤煉瓦ホールや蔵を再生するために、他の部分を宅地として分譲するという手法は、行政などに頼らないという点で画期的。分譲地の建物もデザインコントロールができるので、全体の建物が完成した時が楽しみ。

A :旧小森谷商店の煉瓦蔵を残しながらも残りの土地を宅地分譲することにより、不動産事業として採算があげられるという本当に良い見本になってほしいと思います。住宅地として周辺環境に歴史的建築物が付加価値としてあることが、どこにでもある分譲地と差別化になり、画一的に造られるまちに満足しない人たちに受け入れられることとなれば、良い前例として他の市でも参考になります。

A :地元不動産屋さんと本庄まちづくり NET の戸谷さんとのコラボで小森商店の蔵を残し再生させたこの事業のスキームは他でも学ぶべきものだと思う。再生する蔵と戸建て分譲地のデザイン上の調和やコミュニティづくりなどの今後に期待したい。

A :行政頼みの保存運動でなく、自ら活用、経営していくという発想とエネルギーが素晴らしいです。

A :民間が行う再整備なのに、街並を大事にしながら経済的にも採算の取れる事業というのは大変感心しました。

A :最初、戸建て住宅を建てる時「もったいない」と思いましたが、それが赤煉瓦ホールなどの歴史的建物を守る手法だと聞いて納得しました。全体の整備後にまた行ってみたいですね。

A :できあがるのが楽しみ。開発事業と保存の新たな手法だと思います。

A :歴史ある建物を活用することで、住民の方に地元を再認識するきっかけになると思います。

A :すばらしいと思います。ぜひ、旧中山道をあるく方々にも積極的にアピールすべきだと思います。



A :とても良いです。

A :戸谷さんははじめ関係者の皆さんへの努力に期待します。開発と保存(保全)のモデルとなるよう期待しています。新たに造る建物・敷地のデザインに興味あります。

A :戸谷さんをはじめとして、保存に対する新たな試みがあり、今後にも期待したい。

A :今後のまちの活性化に資するものと評価したいが、NPOだけの取り組みには限界があり市行政などの理解や支援の必要性を感じた。

B :建物保存再生と開発の併用で、蔵の保存を実現させる手法が参考になりました。

一 :異業種集団の核に建築設計士がいることは「街づくり」に欠かせない要素、という認識が、より一層定着してくれるのである。

## 6 新幹線本庄早稲田駅周辺の区画整理(まちづくり)について BBBCCCCC【1. 8】

B :まだ道路ができたばかりで街のイメージがわからなかつたが、全国企業の本社や研究所などが立地しつつあるそうで、新幹線駅と早稲田大学を活かしたまちづくりに期待したい。ただ、郊外沿道型商業地のような粗雑な空間になってしまふおそれがあつたので、明確なイメージ像を持ったまちなみ景観の誘導が大切。

B :数年後が楽しみです。本庄の中心市街地との連携ができるといいですね。

B :あせらず、ゆっくり整備することで、この地域の良さを反映できると思います。区画整理地からの景観づくりに浅見山(早稲田リサーチパーク)と男堀、女堀が生かせるか。

C :新幹線の駅前なので整備すべきだということはわかるが、どういう街を目指しているのかがよく分からぬ。

C :川掘りが「単なる掘り」であつてはならず…人が近づけ親しみ感のある計画をどこまで意識して作っているのか疑問でした。今後ビルが建ち並び、人が増えてもせっかくの川に「親水性」がないと面白くない。

C :丘の上の公園から市街地が一望できるので、これから街の変化が見ることができて良いと思います。公園から見たときに木が少し邪魔になっているので、見通しができるように工夫して欲しいと思います。

C :新幹線の単独駅は地方空港と同じと考えれば駅前整備の考え方には自由度が生まれるという説明は目から鱗であった。地元の「本庄早稲田まちづくり勉強会」の活動にも期待したい。

C :従来どおりの住宅地開発では無理があるのではないかでしょうか。戸谷さんの言われた「空港」という発想は思いつきもしませんでした。我が事(地元の問題)として真剣かつ冷静に考えていればこそその発想ですね。



## 7 早稲田リサーチパークについて ABBBBBB【3. 5】

A : なだらかな丘、林や池や草原など、すばらしい自然景観が残されていて、散歩に絶好の場所となっていた。産学連携については外観からはよくわからなかったが、今後のさまざまな取り組みに期待したい。

A : 豊富な緑地内にあり素晴らしい。いつも高速道路側からはラブホテル群を横目に、素晴らしい「緑地帯」を大変気に入っています（W高校・リサーチパークは見えないけれど、緑地帯が高速道路からの騒音を打消しているのでしょうか）。



B : 新幹線と高速道路のアクセスが非常に良く、緑豊かなリサーチパークはなかなかいいと思うが、もう少し飲み屋などの街らしい部分があると面白くなると思う。

B : 里山を残したキャンバスづくりは好感がもてる。地元と大学等との連携に期待したい。

B : 自然を残した開発は評価できる。

B : 里山の雰囲気が残されていてよかったです。山に囲まれたインキュベーション施設前の公園はのんびりできて、憩いの場になると思います。

B : 本庄の未来・進化軸として眼下に新都心。そして北方旧市街地を望む。

B : 官学連携に市があまり積極的でないというお話しに少々がっかりしました。

## 8 全体を通じて特に印象に残った場所＋コメント

○中山道：往時の面影を残す建物は少ないが、奥行きの長い宅地や、残された蔵などをみると、かつての宿場町の街並みが想像できる。

○中山道の古いお店：ひもかわうどんのお店では奥の製麺所まで見せていただいた。和菓子屋の「せきね」では、まち歩きのメンバー全員に瓦せんべいをいただき感謝です。

○ローヤル洋菓子店、銀座通り、飯塚歯科医院、本庄仲町郵便局、旧本庄警察署、うどん屋さん等：当然赤煉瓦ホールも含め、多々良かったです。

○旧本庄商業銀行（現・ローヤル洋菓子店）：中山道沿いに近代建築を現役で活かしているのがすばらしい。お店の方も親切で、お菓子もおいしかった。

○中山道・ローヤル菓子店：活きた使われ方をしている近代遺産の良い例です。

○ローヤル菓子店：煉瓦造の歴史遺産。菓子店のため多くの来店客が訪れて、身近に歴史を感じるこ



とが可能。末長い営業を期待したい。

○本庄仲町郵便局：旧繁華街の中心に位置する歴史遺産。菓子店同様、多くの利用客が見込める施設であり、身近に歴史を感じることが可能。

○旧本庄警察署(現・歴史民俗資料館)：木造の近代洋風建築がとても美しい。隣の小屋(庶民が面会を待つ場所)も残しているので、当時の権威が実感できる。

○旧小森商店酒蔵群(赤煉瓦ホールなど)：黒壁土蔵、白壁土蔵、赤煉瓦蔵の3棟がまとまって残った。赤煉瓦ホールは洒落ていたが、土蔵の2階での交流会も風情満点だった。

○本庄赤煉瓦ホール：全体を通じて印象に残ったところですが、歴史的価値があると言ってもすべての蔵を保存活用には限界があります。今回の本庄赤煉瓦ホールは民間事業者とまちづくりNETの戸谷さんの本気と知恵を持ってすれば道があることを感じられずにはいられませんでした。

○本庄赤煉瓦ホール：住宅と赤レンガホールの街並みがどう作られるかとても楽しみです。

○赤煉瓦ホール周辺：プロジェクトを成功させてほしい。

○本庄の町(中心街)の路地：案内して頂かないと回れない本庄の歴史的な空間

○路地をはさんだ飲屋街：地方の温泉街にでも来たかのような古めかしい飲屋街は、地元の人はどう思うか分かりませんが、なんとも郷愁を誘い懐かしさがあふれます。ああいうものは無くなると新しく作れませんので、残っていてほしいと思います。

○人がすれ違いできない狭い路地：フランスのトロワと言う街の旧市街地の最も狭い路地は屋根から屋根を猫が飛び移ることから「猫の小道」と名付けられてました。

○密集市街地：何とかしたい。

○本庄崖線付近の地形と歴史的建築物：高低差のある地形は変化があって面白いですね。本庄の歴史を感じさせる神社や警察署なども良かったです。

○本庄崖線、煉瓦使用の建物：本庄崖線と煉瓦はシンボル。

○まちの駅：お店の中でちょっとしたスペースで給茶サービスなどをしており、まち歩きにはうれしい施設です。また、子育て応援施設(?)も兼ねているお店は、オムツ替えなどもでき非常に便利です。小さい子供がいると、最近は大きなショッピングモールに家族連れが集まる傾向がありますが、市街地でショッピングモールと同じ機能があれば家族でまち歩きを楽しめると思います。

○早大キャンパスから見る新幹線本庄早稲田駅：

池のほとりの林の中から新幹線を見ていた親子連れが印象に残る。



○レストラン・マジェンタ：地元産の有機食材にこだわったランチはとても美味だった。



9 本庄のまちづくりについて、これからどのようにしていったら良いと思いますか。自由に提案ください。

★中山道の沿道については、観光地を目指す必要はないので、街の記憶として残すべき建築物を再生して街に必要な機能を導入し、周辺にはそれと調和する新しい住宅などをつくってゆくことで、生活している人にとって住みやすい街にしていくのがいいと思う。また、本庄早稲田駅周辺は、一般的な駅前開発という発想ではなく、東京などへのアクセスの良さを活かして、早稲田大学と連携して関連する研究施設等を更に誘致し、駅周辺全体をリサーチパークとして拡充してゆくのがいいと思う。



★中心街は、中山道の歴史的町並みがそれほど見られず、商店街の活気もあまり感じられず、今後が非常に難しいと感じた。しかし、よく見ると土蔵がたくさん残り、路地や崖の情緒があるなど、街の持ち味は失われていない。今回、3種類の酒蔵を残して三様に活かす試みが始まり、かつ中心街居住の宅地分譲も組み合わさって、多くの人に中心街の生活の楽しみ方を見つめらう契機となり、新しい息吹が次々と広がることを期待したい。

★本庄早稲田駅周辺は、新幹線と早稲田大学、そして広い土地を活かし、中心街とは全く違う機能・空間を実現すべき。特に、在来線のない新幹線駅という空港のような性格を前提に、全国の先駆けとなる独創的なまちづくりを(市とURの連携で)期待したい。

★リサーチ、区画整理でできた町の新しい企業で働き、本庄の中心市街地の歴史と自然を享受した住生活ができるといいなと思いました。まちづくりも新しい開発との連携し旧市街地のまちづくりを考えていくことが必要ではないでしょうか。

★新幹線新駅は地方空港だと考えると大学やリサーチパーク、里山、既存集落との境目のデザインや景観コントロールが大切だと思う。旧市街地は既にかなり衰退しているのでそれを逆手にとって、残る歴史的資源を徹底的に掘り出し、今も続くお店や今回の本庄煉瓦ホールのような再生事例を広く情報発信してもらいたい。新駅と旧市街地をともに利用するライフスタイルの提案も必要だと思う。

★新都心もありますが、やはり旧市街地の方に力を入れてほしいですね。崖線のあたり、とても良かったです。

★埼玉の、中山道宿場町の面影が残る、路地の良さを伝えること。元小山川の流路と、崖線が町の骨格となるまちづくり。

★大きな宿場町であったことを行政も含めより強くアピールし、まちづくりのキーワードの一つとする。(ただし、大内宿の様に観光バスでごった返し「当初の良さが欠如」する様な事例には批判的…。「本庄路地銀座街」一体をW大研究者等に限らず、頭を休めさせてくれる「宿場風…癒しの飲み屋街」を仕掛けるのも悪くないのでは。(そこに出でくる料理の一つは本庄B級グルメか?)。とにかく本庄に限らず「地方都市の商店街の活性化!」の仕掛けを図る事が大命題。

★本庄市も例外でなく地方都市における傾向として中心市街地の空洞化は同じ様な問題だと思います。郊外型のショッピングモールが多くできましたが、そろそろ飽和状態な感もあります。本庄市の煉瓦蔵を活用した洋菓子屋など美味しい食べ物屋や、生活に近いところでの身近なお店など郊外店では得られにくい業種を空き店舗を活用して見直されると良いのではと思います。

★本庄駅前の旧市街地が空洞化しているので、人口を誘導する方法を考えた方が良いと思います。土地区画整理事業ではなく、赤レンガホールの再整備のような中山道の区割りをうまく使って、古いものと新しい住宅地が一体となった街ができると面白いです。

★テーマ別まちあるきマップをつくりたいです。たとえば、近代遺産編、口ヶ編、旧産業地編、中山道編などなど。

★街なかで活動するNPOができると、深谷や、行田との連携もでき、ネットワークの力を発揮できそう。

★今回初めて気がついたのですが、本庄に限らず埼玉県や群馬県では繊維関係の産業が盛んだったということです。川越や行田でも着物関連の産業遺産が残っているし、群馬県では富岡製糸場があり、桐生や伊勢崎もあります。私は着物が好きですが、川越や行田を見て「着物で散策できるまち」と感じましたが、本庄も同様だと思います。また、中山道最大の宿場というのも歴史を感じ、「着物が似合うまち」を感じさせます。繊維関連の地域をピンポイントで訪れるのもいいですが、それらの集積をつないでちょっと遠いですが回遊できるような仕掛けは無理でしょうか?都心からの日帰り旅行にちょうどいい距離ですし、宿泊して小旅行もいいと思います。産業遺産を観光に転用し、着物の新たな需要掘り起こしにつながると思います。これは「自分のところだけよければいい」という考えでは無理なので、周辺地域も含め全体で繊維産業の遺産を活用していくというコンセンサスが必要ですが、これからは地域が連携していくというのは必要な視点ではないでしょうか。それともう一つ、歴史のあるまちにしては伝統的な技術の保存がされていないと思いました。市のホームページを見ても、伝統技術が文化財として登録されていない。本当に何もないんでしょうか?染物屋さんや下駄屋さんがあると説明がありましたので、ぜひそのような伝統技術や文化をまち歩きの中で見学したり体験できたら、もっと奥深いまちになると思います。

★住民や地元の方々に、自分のまちの良さをもっと知ってもらい、誇りを持ってもらうような仕掛けが必要だと思います。まずは、「気づき」でしょうか?

★今回廻った中山道沿道周辺や旧市役所跡地(現市民プラザ)を有する銀座通りなど、北口周

辺での活性化策は大分前から議論されているが、衰退する状況に変化はないように思う。そうした中、NPOによる歴史遺産を活用した再生策は一石を投じるものと期待したいが、これを発展的に継続していくには市行政などの理解や協力、支援が不可欠ではないかと思う。一方、木造密集市街地の課題解消は大前提であり、施設の老朽化や居住者の高齢化(?)を考えると既存の存置は困難と考えられ、大規模な地区改良を要するのではないか。

## 10 その他、今回のまち歩き企画についての感想

○本庄の新旧の街を歩き、街の歴史や都市構造も含めて説明していただいたおかげで、本庄という街が非常によく解ったと思います。懇親会をした蔵の2階はとても居心地が良く、非常に楽しい時間を過ごすことができました( K.T )。



○本庄を初めて訪れ、非常に充実したまち歩きを楽しむことができました。午前中の本庄早稲田駅周辺の新市街地開発と、午後の中山道本庄宿一帯の旧市街再生とが、全く好対照で両者の性格が明確に浮き彫りになったように思います

(その間の地元産食材によるランチも美味しかった!)。特に、午後は短い時間の中でツボを押されたコース設定で、密集地、崖線、宿場という本庄の町の特色が良く実感できました。また、宅地分譲しつつ蔵を残すという事業手法には非常に感服しました。できあがりが楽しみです。本庄まちNETの戸谷さんには一日中たいへんお世話になりました。歩きながらの的確な解説やディスカッション、交流会でのお話しを通じ、町の理解が深まり、まちづくりへの熱意を強く感じさせられました。本当にありがとうございます( O.R )。

○新しくできる町、今の郊外的な町、歴史的な町みて回ることができるとても面白い町歩きでした。夕食を本庄でとれる有機野菜を食べ、レンガ倉庫でのコンサートを聞き、朝は畑栽培をして会社に行くといった生活を夢みました(I.Y)。



○今回初めて本庄に行きました。自分では絶対考えつきそうのないところです。都心から2時間弱で、宿場の跡や近代建築などにふれられ、面白いところだなと思いました。だからこそ、あまり一般に知られていないのは残念です。まちの駅もたくさん整備されていて、受け入れ態勢ができており、整備を快く受けてくれる市民の方々は意識の高い善い方々だと思います。それから、昔は繊維産業が盛んでたくさんの人が「住み、働き、生活し」生き生き暮らしていたんだなと思うと、産業の衰退はまちも人も元気を無くし寂しくなっていくのがよく分かりました。それが今の日本の地方の現状です。私の住む荒川区は東京都内ですが事業所数も商店数も減少が止まらず、産業が衰退していると言えますが、地方都市に比べたらまだましとも考えられます。まちの活力を失わないためには、産業振興が自治体にとっていかに重要な仕事であるか実感しました。コーディネーターの古里さん、ご案内いただいた戸谷さんにはお世話になり、ありがとうございました。今度はお祭りにでも、行ってみたいです( Y.Y )。

○深谷市、行田市、そして本庄市と参加させていただきました。近い割にはあらためてまちを見る機会がありませんでした。案内し説明を聞くとその歴史背景もわかりより深くまちを見ることが

できました。一見は百聞にしかずの言葉がありますが、何よりも自分の住むまちにあてはめて過去や将来など色々想像をめぐらせる楽しみができました。今後も気楽な感じで参加させて頂きたいと思いますのでよろしくお願ひします( I.M )。

○ 改めて、密集市街地のすごさに驚きました。防災性の改善に向けて、景気の悪い今だからこそ、時間かけて住民や専門家の皆さんとの知恵を生かした計画づくりが必要だと思います( O.S )。

○歩かないと気づかないところや歴史を感じることができるので、まち歩きの面白さを改めて感じることができました( M.T )。

○まちをきょろきょろしながら歩く事は楽しみの一つであり、旅行先でも 40 年位前からしています。何方かがまち歩きが今は「ブーム」とおっしゃってましたが、「ブームなんて言わないで下さい」。ブームはいずれ去るものです。今後も企画継続して下さい( K.Y )。

○お世話になりました。まち歩きの中で、地域の方々との接点から親密な活動が伺えました。歴史のある建物の活用のなかで、店舗利用が参考になりました。古いもの(建物の他道具類など)は、展示する流れの中で、使うことの大切さを実感しました。いろいろと、ありがとうございました( K.A )。

○隣町に居ながら、しかも親戚も居たりしてるので、今回のようにしっかりと見たことがありませんでした。この企画と案内人に感謝します( O.H )。

○秋晴れの、いい日を有意義に過ごせました。児玉の金鎖神社と本庄の金鎖神社の立地位置関係に興味あり。男堀川と女堀川の歴史的関係とその改修計画の進み具合の关心あり( H.K )。

○地元でありながら、今回の経路や施設はその多くが初めて見聞するものであり、貴重な体験ができたことに感謝したい。まちづくりの観点からは、今後駅南口の発展が期待される中、北口の活性化策が急務と改めて感じた。今回案内役でお世話になった地元NPOをはじめ、市行政などの理解と協力、支援の中での歴史遺産等を活用したまちの活性化に期待したい( K.Y )。

○午前の部と午後の部がうまくつながるのか不安でしたが、新旧の対比ということでまちづくりを考える材料になったと思います( H.T )。

(コーディネーターより)

○1年前の秋に旧小森商店の再生を住宅地開発と組み合わせて試みる「蔵のまちプロジェクト」のお話を戸谷さんから伺い、再生のシンボルとして赤煉瓦ホールがオープンしたら是非まち歩きを企画したいとお願いしていました。このスピードで実現するとは、地元、本庄まち NET メンバーの力に脱帽です。また、衰退した地方都市のイメージがある本庄でのまち歩きが、戸谷さんの案内力により、多くのまちの資源を知られ、これほど魅力あるものになることに感心しました。本当に感謝です。まち歩きを楽しむ者としては、第2、第3の「蔵のまちプロジェクト」が本庄で、そして各地で広がるよう情報発信のお手伝いができるばと思っています(古里実)。

